

優良事業者表彰（事業者のくまエコ温暖化対策賞）

第4回受賞者（令和2年度）（五十音順）

- 株式会社 LIXIL 有明工場
- 熊本県酪農業協同組合連合会
- サントリービール株式会社 九州熊本工場
- 中央可鍛工業株式会社 熊本工場

【受賞者の功績概要】

株式会社 LIXIL 有明工場



（右）

株式会社 LIXIL 有明工場
無津呂 総務課長 様

（左）

蒲島郁夫 熊本県知事
（以下同じ）

（1）独創的な取組み

中央監視システムを導入し、設備の稼働状況やデマンド値をリアルタイムで把握、エア漏れを可視化する装置を導入、設備ごとに電力使用量を把握、執務スペースをロールカーテンで区切るなどを行っている。

（2）汎用性のある取組み

設備のインバーター化や台数制限等の負荷に応じて無駄なくエネルギーを利用するためのシステム作り、蒸気配管やバルブの保温、照明の LED 化や人感センサーの導入、昼休みの消灯等を行っている。

（3）組織性のある取組

LIXIL グループが定めた環境目標（2020 年度に CO2 排出量 10%減（2015 年度比））に向けて取り組みを進め、2 か月に 1 回開催される環境管理委員会や、月に 1 回開催される省エネ部会を中心に省エネ活動を進めている。

熊本県酪農業協同組合連合会



(右)

熊本県酪農業協同組合連合会
隈部会長 様

(1) 独創的な取組み

コンプレッサや冷凍機にメーターを設置、国の補助金を活用し A 重油ボイラから都市ガスボイラへ更新、氷蓄熱システムと自家用発電機を活用したピーク電力の削減をしている。

(2) 汎用性のある取組み

設備のインバーター化や台数制御等の負荷に応じて無駄なくエネルギーを利用するためのシステム作り、ボイラの配管やバルブ等の保温、ボイラの効率や蒸発量等を 1 時間ごとに確認できるシステムの導入、プレート式熱交換器を利用した洗浄用温水の製造、照明の LED 化を行っている。

(3) 組織性のある取組

毎月部署ごとに省エネ目標の設定や、前月に設定した省エネ目標の達成状況の検証等を行い、事業所全体で省エネに取り組んでいる。

サントリービール株式会社 九州熊本工場



(右)

サントリービール株式会社
九州熊本工場
大下工場長 様

(1) 独創的な取組み

工程や設備ごとのエネルギー使用状況を「見える化」、工程ごとにエアの流量計の設置、工場内のバルブやダンパの開度を調査、全国のグループ工場にも省エネ対策を発信・共有している。

(2) 汎用性のある取組み

設備のインバータ化や台数制御等の負荷に応じて無駄なくエネルギーを利用するためのシステム作り、ボイラの配管やバルブ、プレート式熱交換器本体等の保温、ボイラの効率や空気比の確認、排熱を回収し温水製造等に再利用、照明のLED化を進めている。

(3) 組織性のある取組

工場にて環境目標を年2%原単位削減に定め、環境保全委員会等を中心に省エネ活動を推進、外部の講習会やセミナー等に参加し、省エネに関するアイデアや事例を収集している。

中央可鍛工業株式会社 熊本工場



(右)

中央可鍛工業株式会社
熊本工場

田口副工場長 様

(左)

藤本聡 熊本県環境生活部長

(1) 独創的な取組み

従業員全員が、各々毎月3件(年間36件)の改善提案を提出することになっており、提案が省エネや安全性、品質の向上につながった場合、提案者に対して金一封が贈られている。

(2) 汎用性のある取組み

半期に1回サークル活動を行い、現場の作業員同士で品質管理や無駄の削減等について意見を出し合い、生産設備の稼働時間の可能な限りの短縮、コンプレッサの圧縮配管のループ化、照明のLED化、照明のマッピングにより不要個所の消灯を徹底している。

(3) 組織性のある取組

月に1回事業所内で、2か月に1回全社で環境委員会を開催している。